

リニア駅の利活用に向けた今後の検討の進め方について

飯田市リニア推進部リニア整備課

1 経過

リニア駅周辺整備に関し、基本計画（H29.06）や基本設計（R01.12）での議論や、それを踏まえた作成した「飯田・リニア駅前空間デザインノート」の方針をベースに、土木関係の実施設計を進めてきた。また、計画の更なる深度化のため、次世代インフラ、トータルデザイン、ブランドクリエイトの3つのプロジェクトによる検討を並行して進めてきたが、これらの検討状況とその成果を発表し、多くの市民のご意見を伺うため、「検討状況報告会」「意見交換会」や「成果発表会」を実施してきた。

2 リニア駅の利活用に向けた飯田市としての今後の検討方針

「建築関係の実施設計」とともに、「広場・高架下空間の活用・運営」や「新たなモビリティの活用を視野に入れた交通体系の具体化」のため、庁内で連携した取組みを行っていくとともに、引き続き下記の3つのプロジェクトによる検討を進め、必要な機能の実装を進める。

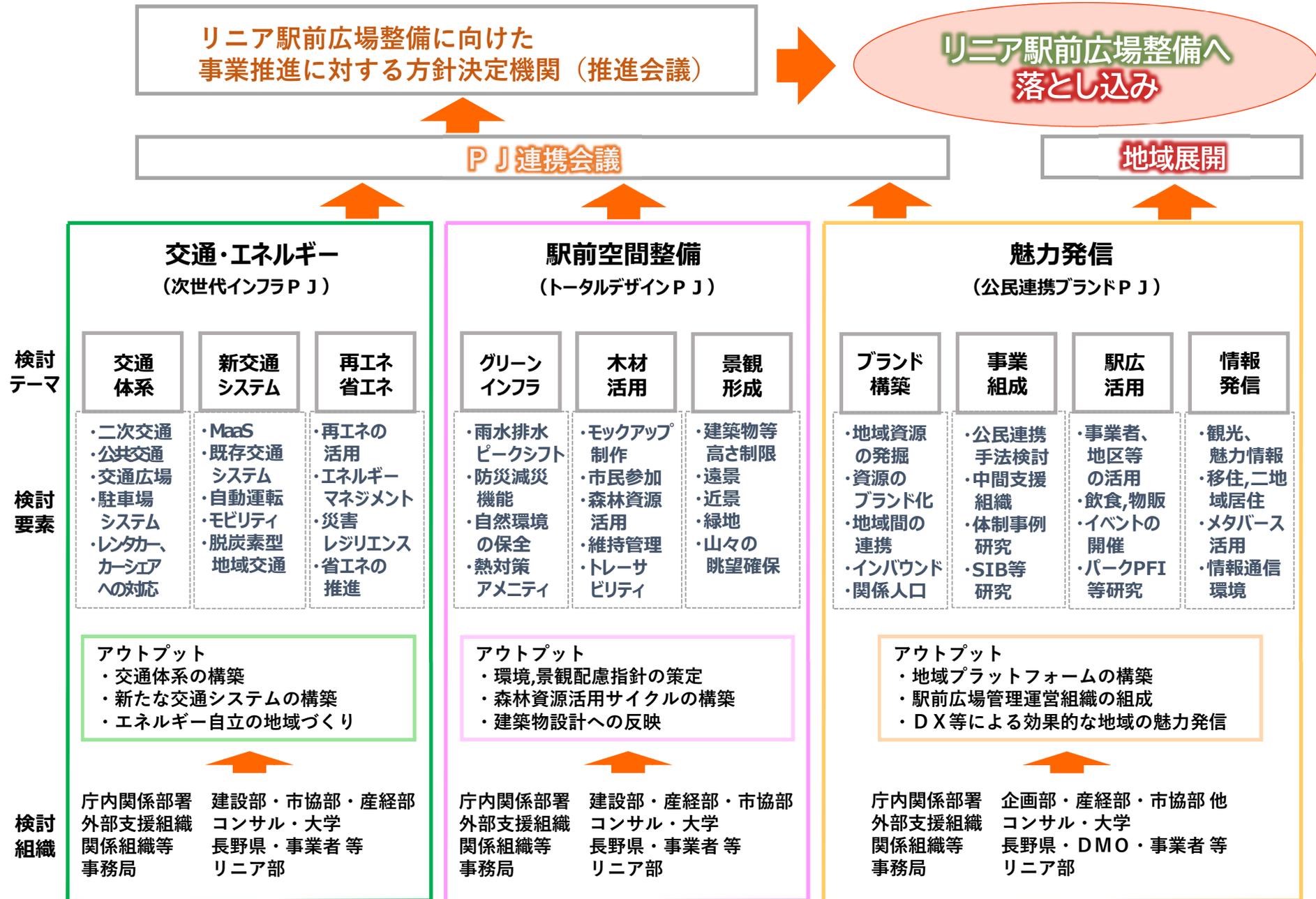
- (1) **【次世代インフラPJ】**：リニア駅を基点とした交通体系や駅前広場でのエネルギー施策の検討
 - ①利便性の高い交通体系の検討（既存の公共交通とリニアの2次交通の総合的な在り方）
 - ②新たな交通システムの検討（MaaS、自動運転、新モビリティ等の導入、JR 飯田線との接続含む）
 - ③再エネ・省エネの検討（災害レジリエンスやエネルギーマネジメント等を踏まえた方向性）
- (2) **【トータルデザインPJ】**：リニア駅前広場の整備関係の検討
 - ①グリーンインフラ機能の検討（雨水排水ピークシフト、防災減災機能、自然環境の保全等）
 - ②景観形成に向けた検討（建築物等の高さ制限、遠景・近景、緑地確保、山々の眺望確保等）
 - ③地域の木材活用に向けた検討（市民参画、森林資源活用サイクル、維持管理等）
- (3) **【公民連携ブランドPJ】**：リニア駅前広場における魅力発信の検討
 - ①地域ブランド構築に向けた検討（魅力要素抽出・活用、地域間連携、関係人口の構築等）
 - ②管理運営事業体の組成の検討（公民連携による管理運営組織・中間支援組織の組成等）
 - ③広場、高架下空間への展開（事業者による活用、交流広場におけるイベントの開催等の検討）
 - ④情報発信に向けた取組み（DX等活用、移住定住・二地域居住案内、継続的な発信等）

3 リニア駅の広域的な利活用に向けた民間・県・広域連合等と連携した今後の検討方針

リニアの整備効果を幅広いエリアで享受するために特に必要となる飯田下伊那圏域を越える2次交通や総合的な情報発信に関し、上記2の市としての検討と並行して、民間や県・広域連合等と連携した体制を構築し、多様な観点からの検討を進める。

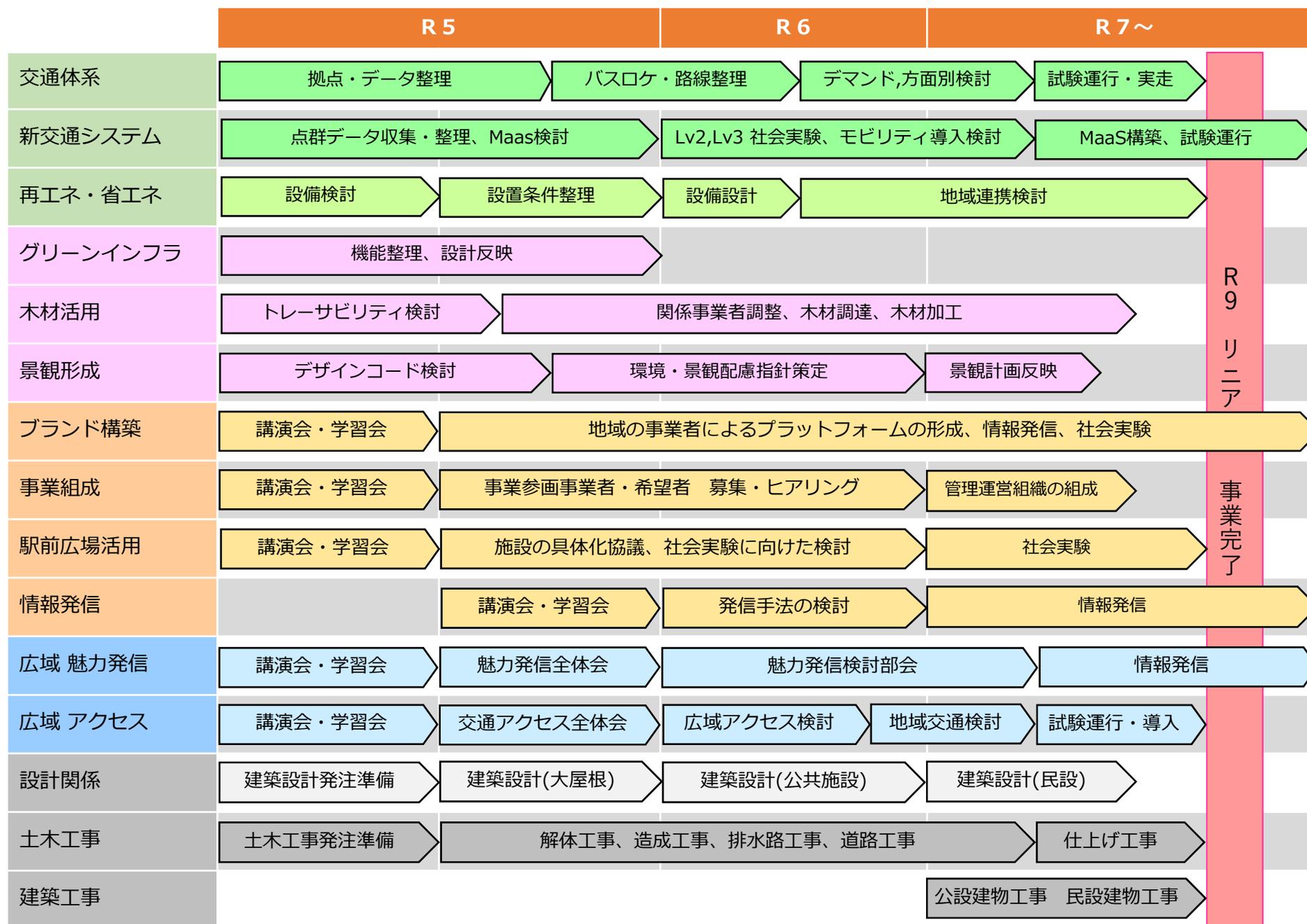
- (1) **リニア駅前広場やリニア駅高架下空間における利活用の検討**
 - ①外部から求められる情報内容の検討
 - ・観光や移住定住に関する情報等の都市圏への継続的な発信
 - ・メタバースへの取り組み等、DX等を活用した情報提供等の検討
 - ②地域の魅力の活用
 - ・地域資源の発掘・活用、飲食・物販・イベント等への展開等の検討
- (2) **リニア駅を基点とした交通関係の検討**
 - ①広域的なアクセスの充実に向けた交通体系の検討
 - ・リニア駅から各方面の拠点への移動手段についての具体的検討
 - ②新たな交通システムの導入に向けた検討
 - ・各拠点へのアクセスの方向性を踏まえた、MaaS等の新たな交通システムや新モビリティの活用

リニア駅前広場に係る検討体系 イメージ図(案)

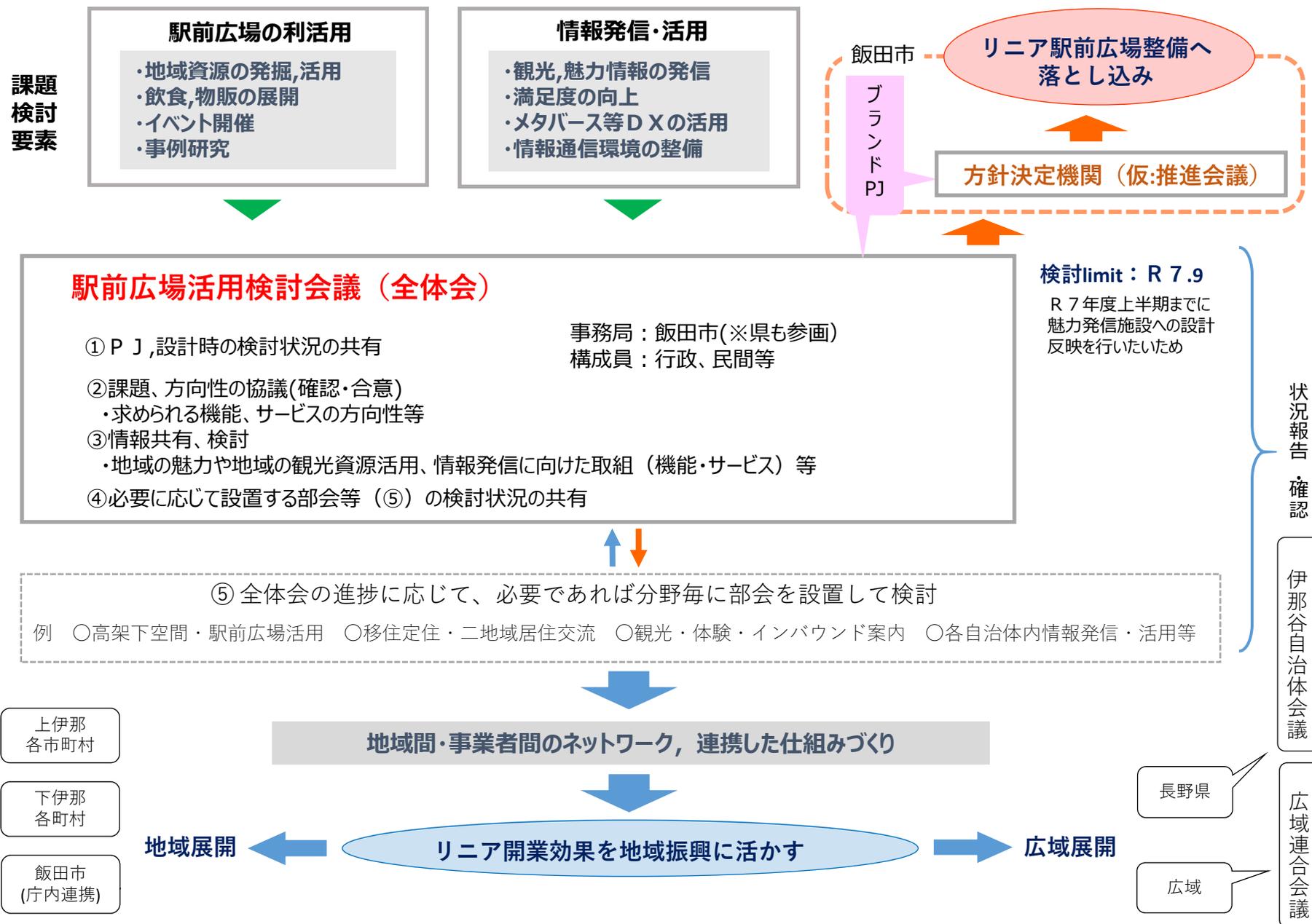


プロジェクトにおける検討の進め方・工事等のスケジュール（案）

令和9年(2027)の完了を目途



1 リニア駅前広場における魅力発信の検討体系 イメージ図(案)



2 リニア駅を基点とした交通関係の検討体系 イメージ図(案)

